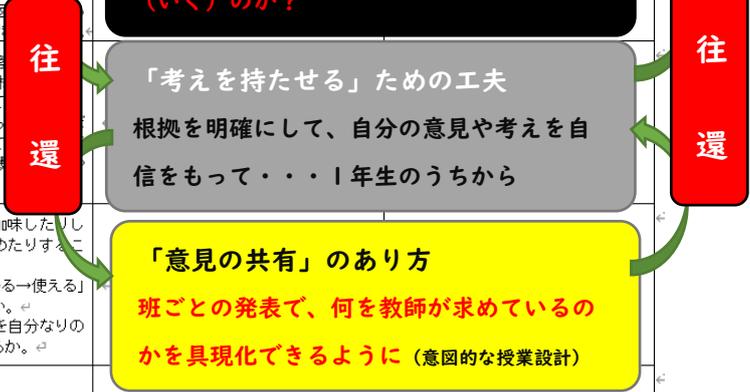


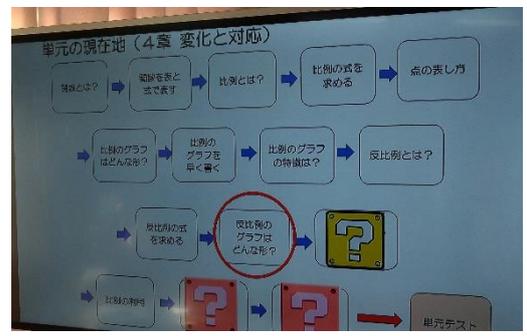
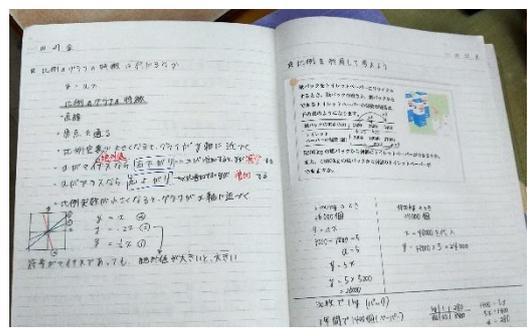
Y先生研究授業

	チェックポイント	指導方法の工夫・手立て	成長課題
主体的な学び	<p>① 生徒は、教師の「教えたいこと」を、自分の「学びたいこと」とするなど、学習の目的や見通しを明確にして学んでいるか。</p>	<p>① 本時学習に興味や関心をもって、(「〇〇したい」) 解決すべき課題を自分ごととしてとらえることができたか。</p> <p>② その活動をするのがどんな意義や意味があるのかを見通して共有できているか。</p> <p>③ 目的に照らして活動を振り返り選択・試行錯誤することができたか。</p>	<p>「学ぶ意義」を伝える(教える) 反比例が生活にどのように関わっている(いく)のか?</p>
対話的な学び	<p>① 生徒は、自分の考えを表現するとともに、他者の考えを比較したり関連付けたりしながら、課題に対するよりよい解決の方法をめざして学んでいるか。</p>	<p>① 課題解決に向けて、自分の考えができて、(考える) 他と協働する必要性を感じて、③ どのように考えたり話し合っよいかを見通すことができて、ICT構(思考ツール等)</p>	<p>「考えを持たせる」ための工夫 根拠を明確にして、自分の意見や考えを自信をもって・・・1年生のうちから</p>
深い学び	<p>① 生徒は、教師の想定した本時のゴールの姿に(発言、行動、作品) に迫ることができたか。</p>	<p>① 他者の考えを関連付けたり加味したりして、考えを明確にしたり深めたりすることができているか。</p> <p>② 「知っている・できる一歩かへ」の方法で学びを進めているか。</p> <p>③ 本時の学び(内容・方法等)を自分なりの言葉で表現することができるか。</p>	<p>「意見の共有」のあり方 班ごとの発表で、何を教師が求めているのかを具現化できるように(意図的な授業設計)</p>
学習集団	<p>① 生徒は、学習や学級集団での活動に取り組む意欲や習慣をもって学んでいるか。</p>	<p>① 教師や他の生徒との親和的な人間関係があり、学習や対人関係のルールやマナーが定着しているか。</p>	



な

- これまでの学習と関連付けて学ぶことができている。
  - 学びのストーリー性があり、単元を見通した授業、及び1単位時間の流れが見える授業である。
  - 学びの予想が立てられる授業の構築がなされている。
  - 学びの足跡がしっかりとノートに残っており、ICTに偏らない授業が図られ、家庭学習や復習に生かされる板書である。
- △ 課題解決のために予想を立てたり、考えを深めたりするような授業設計を心がける。



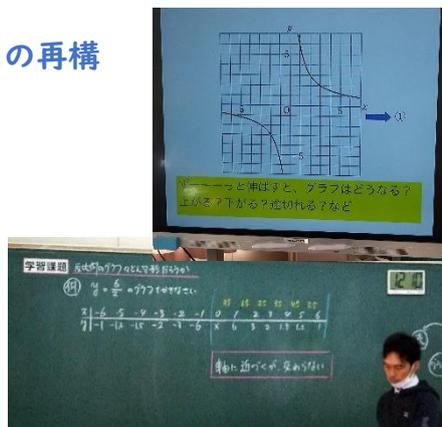
た

- ICTの効果的な活用（ICTでなくてはできない）が十分になされており、他の模範になるものである。



- △ 意見の共有がなされた後の個の学びや考えの再構築の時間を確保できるとよい。（毎回ではなくてもOK）

- 学習課題に対する「まとめ」は、生徒自身で…、その上で、生徒の声を拾いながら教師がまとめていけばよいのでは。



- 「振り返り」をすることで、本時の学びや次時以降、日常生活にどのように学びを生かしていくのかなどについて、生徒の声を聞き、学習の習得状況を確認するとともに、授業改善を図っていく必要がある。

### 所感

全体的に洗練された授業であった。特にデジタルとアナログを融合した授業展開であった点が非常に評価できる。

また、本時は教師が想定した「学び」をほぼすべての生徒が習得できていたことも評価できる。

さらに、授業改善のポイントを意識した単元計画が練られており、生徒の学ぶ意欲や好奇心をくすぐるような工夫がされている点など、授業力の高さがうかがえる。

今後は、1単位時間の中でどのようにしたら「数学の見方・考え方」を働かせられるのかを試行錯誤しながら授業設計をしていくことが必要になります。その点を意識し、毎時間の授業実践を行い、日々授業改善を図っていきましょう。

主題研究との関連でいうと、多くの生徒が本時、芳野先生が期待したところまで到達しており、「分かる・できる」授業であり、上述したとおり、ICTの効果的な活用がなされていた。これが学力向上につながっているかは、諸検査や単元テスト等で見取っていく必要があるため、結果を分析していくことが必要であると考えます。

また、校内DX班としては、先生の今回のようなICTを効果的に活用した授業をどのように広げていくのかを検討したり、実際に試験的に実施したりする必要がある。